

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 14日

事業所名

阿桜園 ほっとハウス

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動の内容や利用者の状況に合わせて園内の空間を使用する等の工夫をしています。	
	2 職員の配置数は適切である	○			適切に配置されています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			バリアフリー化に配慮しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			マニュアルを整備し、職員間で意見を出し合い、業務の見直しや改善に努めています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向けの評価表の結果を参考にして業務の改善に努めています。	今回、独自のアンケートを実施しました。今後その内容について検討していきたいと思います。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページで公表しています。	公表の際は保護者の方にお知らせし、確認していただけるよう配慮します。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	外部評価は実施していませんが、法人が行う内部監査等を通して業務の改善に努めています。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			園内外の様々な研修に参加しています。	今後も研修を通して職員の資質の向上に努めます。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者からの要望を聞き、日頃の関わりを通して本人の要望を汲み取りながらニーズや課題を分析し、支援計画の作成に努めています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			園で統一されたアセスメント票を活用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員間で話し合いながら活動について立案しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			週替わりの活動を基本としながら、その日の子どもの状態に応じて活動を提供しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			利用者の状況や利用時間に合わせて調整をしながら支援をしています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			子どもの状況を考慮しながら組み合わせで作成しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			利用状況、活動内容、家族の連絡事項等について確認を行っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援の振り返りを行い、気付いた点等について情報の共有に努めています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			分かりやすく、適切に記録することを心掛けています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			マニュアルに沿って見直しを図っています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		○		自立支援のための支援や創作活動は行っていますが、地域交流の支援は行っていません。		

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			相談支援専門員が参画しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			下校時の送迎等を通して情報の共有に努めています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			医師との連絡体制を整え医師からの指示書を基に喀痰吸引等の業務を行っています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		相談支援専門員を通して情報の共有に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			保護者の同意を得てから行います。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		園として、専門機関と連携し、研修等を受けており情報の共有に努めています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	現在、交流する機会は設けていません。	実施については、本人や保護者の要望を聞きながら検討していきたいと思っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			相談支援専門員、児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳や送迎等を通して本人の様子について伝え、情報の共有に努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○	ペアレント・トレーニングは行っていませんが、今年度ペアレント・トレーニングの研修を職員が受け、情報を共有しています。	ペアレント・トレーニングの研修を通して学んだことを支援に活かしていきたいと思っています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			重要事項説明書等を通して、分かりやすい説明に心掛けています。	ご不明な点については説明いたしますので、お知らせ下さい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者からの相談や悩み等については、必要に応じて助言し、支援に努めています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	現在、父母の会等の支援は行っていません。	今後、保護者の方が集まれるような機会について検討していきたいと思っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情相談受付の体制は整備されています。気軽に話しができるような環境作りに努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			定期的にほっとハウスのお便りを発行し、活動予定等についてお知らせしています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			法人が定めた個人情報保護規定に基づき配慮して対応しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			保護者と情報交換を図りながら、子どもの思いを汲み取れるよう配慮しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			園として行っています。(夏祭り、園祭等)	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している		○		マニュアルが整備さ れており、職員は周 知しています。保護 者の方へは「健康管 理について」として感 染症等への対応をお 願ひしています。	保護者用のマニュアルはありませんが、随時お知ら せしていきたいと思ひます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	○			園で毎月避難訓練を 実施しています。利 用時実施する場合 は、体調に配慮しな がら参加を促しま す。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止委員会を 設置しており、全職 員を対象とした研修 やチェックリストの実 施、読み合わせ等 を行い、虐待防止に努 めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して いる	○			利用者の大半が車 椅子を使用しており、 危険防止のため安全 ベルトが不可欠な状 態ですが、保護者に 説明し了承を得た上 で個別支援計画に記 載し、支援していま す。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている		○		現在対象者はいま せんが、配慮して対 応することは可能で す。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	○			所定の様式を用いて 全職員で確認し共有 しています。	